

令和 8 年度文化関連予算



その他の施策

寛永行幸四百年祭事業費

府市連携

14百万円

「寛永行幸」から400年の節目に記念イベントを開催

当時の行幸を再現したイベントや観光コンテンツの造成等を実施



臨

2027年国際園芸博覧会出展事業費

府市連携

26百万円

環境先進地・京都の姿を国内外に発信

「2027年国際園芸博覧会」に府内の魅力を表現した庭園を府市連携で出展



臨

全国都市緑化フェア開催事業費



45百万円

フェア開催を契機に、京都丹波の魅力発信や誘客による地域振興を推進

京都丹波の豊かな自然が育む食や文化の体験のほか、全国都市緑化祭を開催

令和8年度 当初予算案主要事項（令和7年度2月補正含む）説明

文化生活部

事業名	寛永行幸四百年祭事業費			新規・継続の別	継続
予算額	14,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	14,000
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 趣 旨 令和8年度に「寛永行幸※」から400年の節目を迎えるにあたり、「寛永行幸」の行事を再現するイベントを実施するとともに、寛永年間に花開いた「寛永文化」を振り返る記念祭を実施 ※寛永行幸：寛永3年（1626年）、徳川幕府が後水尾天皇を二条城にお迎えし、5日間に渡って様々なおもてなしを行った、江戸時代を通じて最大級とも言えるイベント 2 事業内容 （1）行幸行列再現イベントの実施 令和8年12月に行幸行列の衣装や装飾品等も含めた再現イベントを数百人規模で実施 （2）寛永文化講座等の開催 寛永文化ゆかりの地域で専門家等によるシンポジウムの実施や伝統産業、伝統工芸などの各種業界関係者が参加する交流会を実施 （3）観光コンテンツ作成・機運醸成 行幸行列への参加や観覧など寛永文化を題材とした観光商品の開発や博物館や美術館と連携した展覧会などを実施				
担当課・担当名	文化政策室 文化連携推進係		課・担当 電話番号		075-414-5140

令和8年度 当初予算案主要事項（令和7年度2月補正含む）説明

文化生活部

事業名	京都国際アート市場活性化事業費			新規・ 継続の別	継続
予算額	107,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		53,500	－	－	53,500
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 趣 旨 世界各国のコレクターの来京を促す「京都国際アートフェア」等を開催し、京都で育てた作家が国際的に評価される仕組みを構築するとともに、京都の秋をアートで彩る取組を展開 2 事業内容 （１）「Art Collaboration Kyoto」の開催 62,000 千円 京都の作家が国際的なアートの舞台に踏み出す契機とするとともに、府民が多様なアートを楽しめるよう、京都市と連携して府市の秋のアートイベントを開催 （２）「ARTISTS' FAIR KYOTO」の開催 30,000 千円 国内外で活躍する京都ゆかりの作家が主体となり、作家自身が出展者として作品を展示販売する京都創発のアートフェアを開催 （３）「Kyoto Art for Tomorrow(京都府新鋭選抜展)」の開催 15,000 千円 日本画、洋画、工芸等の幅広い芸術分野を対象に、京都を中心に活躍する若手作家の選抜展を開催				
担当課・担当名	文化芸術課 文化の人づくり係	課・担当 電話番号		075-414-4219	

令和8年度 当初予算案主要事項（令和7年度2月補正含む）説明

文化生活部

事業名	Music Fusion in Kyoto 音楽祭事業費			新規・継続の別	継続
予算額	45,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		22,500	—	—	22,500
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 趣 旨 誰もが親しみやすい文化である音楽を軸として地域活性化につなげるため、府内各地域でのコンサート開催や子ども向け体験プログラムを実施				
	2 事業内容 （1）室内楽コンサート 25,000 千円 府内各地の府民に身近な場所で、京都ゆかりの音楽家等による室内楽コンサートを実施 （2）子ども向け体験プログラム 20,000 千円 室内楽コンサート開催地等で、アート体験や楽器演奏体験などの文化体験の機会を提供				
担当課・担当名	文化政策室 文化連携推進係		課・担当 電話番号		075-414-4320

令和8年度 当初予算案主要事項（令和7年度2月補正含む）説明

文化生活部

事業名	文化の心次世代継承事業費			新規・継続の別	継続
予算額	39,750千円	国庫	起債	その他	一般財源
		21,250	－	－	18,500
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 趣 旨 「文化の心」を次世代へ継承していくため、茶道・華道等の生活文化や地域の伝統文化等を深く知る機会を創出				
	2 事業内容 学校等に専門講師を派遣し、小中学生が日本の道德観や美的感覚、生活を彩り、他者をもてなすための創意工夫を学べる茶道・華道をはじめとする生活文化等を体験できる機会を提供				
担当課・担当名	文化芸術課 地域文化振興係		課・担当 電話番号	075-414-4279	

令和8年度 当初予算案主要事項（令和7年度2月補正含む）説明

文化生活部

事業名	こころのふるさと京都の文化財保護事業費			新規・継続の別		継続
	予 算 額	国 庫	起 債	その他	一般財源	
		75,765千円	—	63,000	10,000	2,765
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 趣 旨 学術上又は文化的価値の高い貴重な文化財の保全を図るため、「文化財を守り伝える京都府基金」への寄附金等を活用しながら、未指定文化財を含む文化財の保存、修理、防災対策等を総合的に推進 2 事業内容 （1）文化財を守り伝える京都府基金等活用事業 75,000千円 ① 文化財の保存、修理 国宝、重文等の修繕と合わせた有形文化財の保存・修理等 ② 文化財の防災対策 社仏閣等歴史的建造物の耐震化工事、火災報知器の設置等 ③ 未指定文化財の保全 美術工芸品等文化資料の補修、収蔵庫及び防犯設備等文化資料保存施設の整備、民俗文化資料の保全、遺跡・名勝・天然記念物の保全等 （2）広報及び事業選定に係る経費 765千円 事業選定に係る調査や会議開催、リーフレット作成等PR経費					
担当課・担当名	文化政策室 政策推進係		課・担当 電話番号		075-414-4521	

令和 8 年度 当初予算案主要事項（令和 7 年度 2 月補正含む）説明

文化生活部

事業名	祇園祭山鉾懸装品新調事業費補助金			新規・ 継続の別	継続
予算額	15,000 千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	15,000
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 趣 旨 祇園祭山鉾懸装品のうち文化財的価値が高く、大型で貴重な前掛・胴掛・見送りなどの懸装品を退役保存するため、その代替として現代の意匠・染織技術の粋を集めた懸装品新調事業に対して補助 2 令和 8 年度新調事業計画 新調点数 3 点（予定） 船鉾 二番水引 岩戸山 天水引 函谷鉾 下・二番水引 事業費総額 37,500 千円 補助率 2／5				
担当課・担当名	文化政策室 政策推進係		課・担当 電話番号		075-414-4521



(3)文化が息づく京都を磨く

新

寛永行幸装束等再現プロジェクト事業費

30百万円

寛永行幸四百年祭において装束等を史実に基づき再現



伝統産業等の技術継承や担い手確保につなげるため、
府内の担い手とともに、徳川家光が使用した装束や牛車を再現
⇒行列の再現イベント(12月6日予定)等で展示

新

Kyōto YouMe Triennale開催事業費

5百万円

国内外から上質な工芸品が集まるトリエンナーレを初開催

現代美術・工芸・デザインを融合させた国際展覧会を
令和8年10月に東本願寺「渉成園」等において開催



府内各地の工房やギャラリーでの体験等に誘導し、国内外での需要を喚起

令和8年度 6月補正予算案主要事項説明

文化生活部

事業名	寛永行幸装束等再現プロジェクト事業費			新規・継続の別	新規
予算額	30,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	30,000	—
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 趣 旨				
	令和8年度に「寛永行幸」から400年の節目を迎えるにあたり、徳川家光が使用した装束等について、史実に基づく再現に取り組むことで、京都の文化を支える伝統産業の技術継承や担い手確保を推進				
事業内容 （目的 対象 方法等）	2 事業内容				
	府内の専門家や担い手の協力のもと、装束等の再現制作に取り組み、行幸行列再現イベント等における展示を実施				
事業内容 （目的 対象 方法等）	（1）徳川家光装束再現プロジェクト				
	ごしょうぞくのず 『御装束之図』をもとに、寛永行幸の際に徳川家光が着用した装束の再現制作を実施				
事業内容 （目的 対象 方法等）	（2）牛車修復・再現プロジェクト				
	とくがわけよしやず 『徳川家興車図』をもとに、寛永行幸の際に徳川家光が使用した牛車の再現制作を実施				
担当課・担当名	文化政策室 文化連携推進係		課・担当 電話番号		075-414-4320

令和8年度 6月補正予算案主要事項説明

文化生活部

事業名	Kyōto YouMe Triennale 開催事業費			新規・ 継続の別	新規
予算額	5,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	5,000	—
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 趣 旨 「文化が活きる京都」を推進するため、関係団体や府内外のアーティスト・デザイナーなどと共創し、新たな文化の創造や国内外への発信を実施 2 事業内容 「文化が活きる京都の推進に関する条例に基づく基本的な指針」（令和7年6月策定）の重点プロジェクトの一つとして、国内外から上質な工芸品が集まるトリエンナーレを開催する。 ・京都を拠点とする作家の作品を中心として、現代美術・工芸・デザインを融合させた展覧会を開催 ・リバティプリントと丹後ちりめんの協働から生まれた作品群や世界各国の工芸作品を展示する展覧会を同時開催 ・国内外のアーティストや府内各地の工房、ギャラリー等と連携し、展覧会の参加者が制作現場を訪問するオープンスタジオを実施 等				
担当課・担当名	文化政策室 政策推進係		課・担当 電話番号		075-414-5166